

「長野県過疎地域持続的発展方針」の改定案に対し意見表明

～防災教育や地域での取り組みを通じた地域力向上、地震保険やハザードマップの活用等を要望～

日本損害保険協会関東支部長野損保会（会長：野中 厚司・三井住友海上火災保険株式会社 長野支店長）では、長野県から 2025 年 9 月 1 日付で公表された「長野県過疎地域持続的発展方針」の改定案に対する意見募集に対し、9 月 30 日付で意見表明を行いました。

長野県では、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき令和 3 年 8 月に策定した「長野県過疎地域持続的発展方針」について、令和 8 年度から令和 12 年度を対象期間とした次期方針の策定を進めており、今般、同方針案を取りまとめたものです。

長野損保会では、今般、防災、防犯・交通安全の分野に対し、以下とおり意見を提出しています。

頁	該当項目	ご意見等の内容	理由
45	エ 消防・救急体制の整備	消防団員の確保に当たっては、幼少期からの防災学習等を通じて、地域の将来を担う子どもの防災意識を向上させ、地域のリーダーを担えるような人材の育成・確保が重要である点を記載願いたい。	防災意識が向上した子どもが、将来、地域の消防団員候補者になると考えられるため。また、地域防災力向上にもつながると考えられる。 （防災教育支援ツールの紹介） ・小学生のぼうさい探検隊マップコンクール
46	オ 住環境の整備・景観形成の促進	地震による住宅等の倒壊から、住民の財産を守るために、住宅政策に加え「地震保険」等自然災害に備える保険に加入することが「自助」として有効である点を記載願いたい。	保険は被災者の生活再建として有効であるため。
46	カ 安全なまちづくりの推進	地域で犯罪や交通事故を減らすためには、地域で大人と子どもが一体となって取り組める活動の展開が重要である点を記載願いたい。	子どもと大人が連携して防犯や交通事故に係る安全マップ等を作成することで、地域の犯罪や交通事故減少に期待が持てるため。 （活動ツールの紹介） ・小学生のぼうさい探検隊マップコンクール※ ※テーマは防災以外に防犯および交通安全も対象
46	キ 災害に強い県土づくりの推進	防災減災対策の基盤整備も重要であるが、災害発生時に適切な行動がとれるように平常時からの防災情報のリテラシー向上も重要であるので、防災・減災対策のソフト面についても明示してほしい。	平常時から避難ルートや避難所の位置等を確認することにより、有事の際の被害減少に期待が持てるため。 （啓発ツールの紹介） ・そんぽデジタル・マイ・タイムライン ・洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップ向け副読本「ハザードマップと一緒に読む本」
57	エ 多様な学習機会の提供	地域の実情に応じた身近な社会教育施設の利活用・機能向上、信州やまほいく（信州型自然保育）等の豊かな自然環境を活かした幼児教育・保育の充実、豊かな自然環境や地域の様々な資源を活かした多様な学びの場の提供することに賛同する。	社会教育施設の利活用、自然環境を生かした幼児教育、都会と交流等を通じて地域力向上に効果的であると考えられ、また、自然災害等の有事の際には地域住民が助け合うことで被害の軽減に期待が持てるため。
58	オ 地域とともにある学校づくり	コミュニティスクールの仕組みを活かして学校と地域との協働活動の充実を図ることに賛同する。	地域の特色を生かしながら学校職員と地域住民が協働して子どもたちの豊かな育ちを支えることは、地域力向上、将来の地域の担い手の育成につながると考えられるため。

当支部は、安全で安心な社会の実現を目指して、引き続き各種取り組みを進めてまいります。